

## 2020年度の事業報告

2020年は、年初より新型コロナウイルス感染症等により、食品業界全体が大きな影響を受けた年であった。飲食店等の営業自粛や時短営業による需要減少や、オリンピックを期待したインバウンド需要の喪失や国内旅行の極端な減少による宿泊施設への影響、観光需要の減少など、塩業界にとっても事業継続に大変厳しい年となった。

7月には、熊本県を中心とした九州地方や中部地方など日本各地において集中豪雨・長雨、それらに伴う停電、河川反乱、局所的に甚大な被害災害をもたらした。

東日本大震災の被災地の水産加工業については、復興庁によると、施設復旧を進めた結果、97%の施設で業務を再開しているが、売上げの回復が遅れていることから、被災地の水産加工業者等が販路の回復・開拓に向け取り組んでいる。

こうした中、塩の販売については、既に顕在化している少子高齢化、人口減少時代の本格的な到来に加えて、国による塩分摂取目標値が男女とも引き下げられ、減塩志向も相まって、生活用塩の減少傾向が依然として続いている中、通期では90万トンを下回ると見込まれている。

2020年度も塩工業会会員は、国民生活に不可欠な良質な国産塩の安定供給を続けてきたが、「燃料費、物流費の上昇、設備維持更新費用の増大」により、厳しい経営状況が続いている。

国内製塩業に過大な負担をもたらす石油石炭税については、2019年度末に、軽減措置に係わる法案が可決し、2020年4月1日から3年間延長されたが、引き続き期間満了後においても、軽減措置がなされるよう、関係方面へ機会がある都度、脆弱な企業体力について説明を実施した。なお、10月、菅首相による「2050年 カーボンニュートラル」の所信表明以後の脱炭素社会実現に向けての政府内の動きは、引き続き注視を要することとなった。

9月には、塩に係わる団体を全国的に網羅する「全国塩業懇話会」が発足し、塩業界の健全な発展を目指し活動を開始した。塩業界の社会的責務を果たす種々の事案に対して、既存の各業界団体及び企業が個々に対応するのではなく、産業界全体でその対応を図り、課題解決に向けて纏まりをみせた。

海外石炭事情（アジアの一般炭需要）については、中国では、豪州が中国の新型コロナウイルス感染症の対応について国際調査を要請したことを受けて、輸入規制措置により、豪州産石炭に対し引き締め策が実施されるなど、中国国内も石炭需給が混乱した。その他ASEAN地域では、新規火力発電運転開始等により、今後も建設中の火力発電所の運転開始に伴い増加している。そのような状況下にあつて、石炭価格の高止まりは、為替問題も絡み、国内製塩の安定操業・事業存続について、危惧される状況であることには変わりはない。

関税問題等では、11月15日に日本や中国、韓国など東アジアを中心に15か国が参加するRCEP＝地域的な包括的経済連携が首脳会議において合意し署名された。

## 2020年度の具体的取り組み等

### (1) 国産塩の安定供給への取り組み

2020年度 会員は需給関係について、ユーザーへの供給において支障をきたす事態は発生しなかった。

### (2) 塩技術関係の取り組み

- ① 塩専売制度廃止後、顧客からの品質要求が益々高まる中、膜濃縮せんごう塩の食品衛生管理レベルの向上と品質保証体制の構築を図るため、「食用塩の安全衛生ガイドラインの食用塩安全衛生基準認定審査要領書（改訂5版）」に従い、2020年10月、11月、「安全衛生管理体制、原材料の管理体制、生産工程の管理、製品の管理」の4項目についての工場検査及び製品の抜き取り検査を実施した。

その結果に基づき、2021年2月17日、外部審査委員（中尾真一委員長、他4名）による安全衛生基準認定審査委員会を開催した。会員企業を審査した結果、全社「食用塩安全衛生基準の要求事項に適合している」と判定され「食用塩安全衛生基準更新審査結果報告書」を発行した。

- ② （公財）ソルト・サイエンス研究財団の助成研究課題推薦のため技術部会において業界内の意見を集約し、塩の効能等を考慮して各分野の推薦を行った。  
また、同財団の各種研究会活動への参加・協力を行った。

### (3) その他

- ① 発足した全国塩業懇話会について「顧客優先に関する課題」「環境保全に関する課題」「安定供給に関する課題」の3点を重点活動課題とし、会員各社からのワーキングメンバーにより現状の問題点等の掘り起こし、期待される効果、スケジュール等を検討し、全国塩業懇話会理事会において報告発表した。
- ② 塩業界挙げての「塩と暮らしを結ぶ運動」について、参画する関係機関・団体とともに理解啓蒙に努めた。
- ③ コンプライアンスの実践を事業活動の最重要課題のひとつと位置づける当会は、コンプライアンスに根差した事業活動を図った。